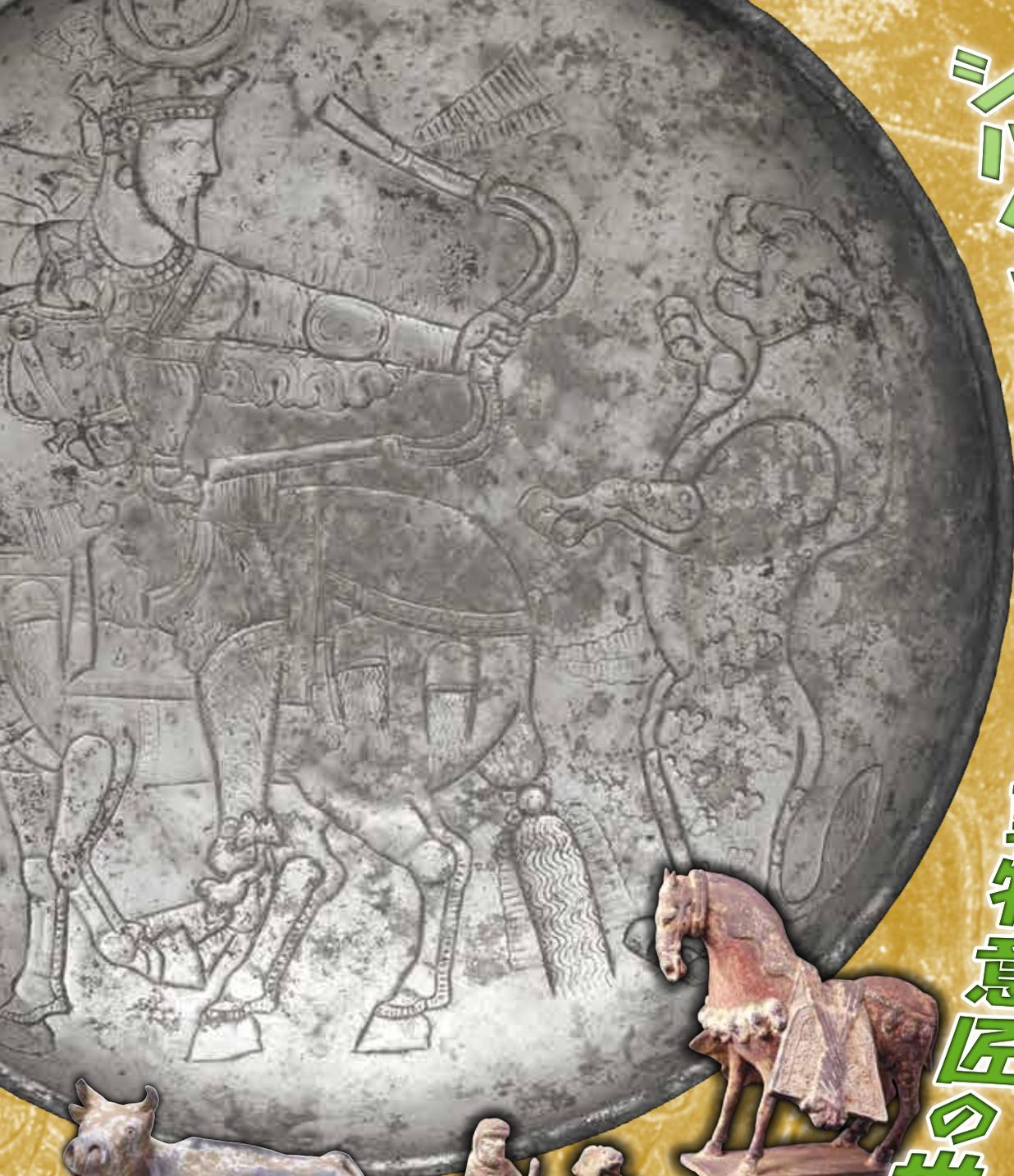


第77回企画展

シルクロードの動物と動物意匠の世界



左上：鍍金銀帝王狩獵文皿／イラン／7～8世紀頃
左より：
灰陶牛／中国／北朝
灰陶加彩騎駝胡人／中国／北魏
灰陶加彩馬／中国／北魏
無釉猪／中国／唐

2016年

7/6水 ▶ 9/5月

【会場】 3階企画展示室
【開館時間】 9:30～16:30(入館は16:00まで)
【休館日】 7月12日・19日 8月9日・13～17日・23日・30日
【入館料】 大人400円 団体300円(20名以上)
小・中学生200円(学校単位の団体は無料・事前申込が必要)
※障がい者とその介護者各1名は無料となります。
受付カウンターに障がい者手帳をご提示ください。

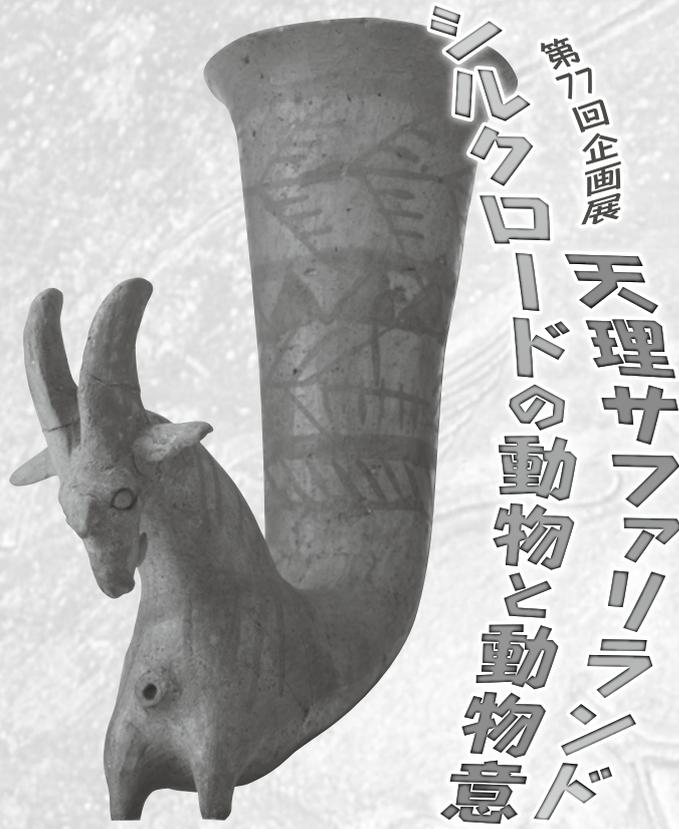
天理大学附属
天理参考館
ウェブサイト



世界の生活文化と考古美術の博物館
天理大学附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM
〒632-8540 奈良県天理市守目堂町250
TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721
URL <http://www.sankokan.jp/>



第77回企画展
シルクロードの動物と動物意匠の世界



本展では漢～唐代の動物俑(人形)をはじめとして、西アジアから東アジアにわたる動物(牛、馬、羊、犬、豚、鹿、豹、ラクダなど)に関連した多数の考古資料を展示します。

騎馬民族のコーナーでは、鹿を並べて文様化した「青銅三鹿文帯金具」や、ユニークな表情の牛を表した「牛頭形飾金具」など、多彩な遊牧民の動物意匠の世界を紹介します。

シルクロードは前漢の武帝が宿敵の騎馬民族、匈奴に対するために大月氏に張騫を派遣し、また、西方の駿馬を求めて大宛に大軍を派遣して「汗血馬」を得ることに成功した時に開通したとも言われますが、そうした西方からもたらされた名馬の姿を馬の俑に窺うことができます。このシルクロードを通してさかんに絹や玉、金銀などの高価な品々が交易されましたが、胡人(西方の人)やラクダの俑は、シルクロードを往来した隊商を彷彿とさせます。

このほか、イランの「鍍金銀帝王狩獵文皿」では王による狩獵の様子などもご覧いただこうと思います。

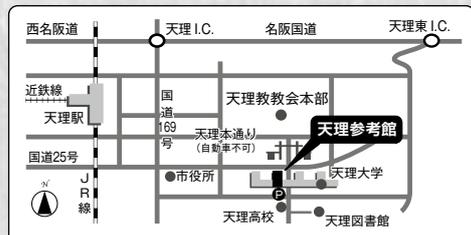
今回の展覧会を通して、多くの方々にさまざまな動物と触れ合っていただければと思います。

また、本展は夏休み期間とも重なっていますので、お子様連れでもぜひご来館ください。

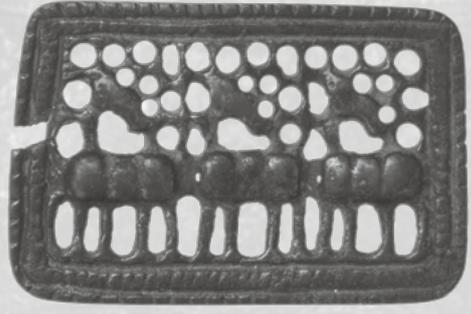
【関連イベント】

- ◆記念講演会<<研修室>>
「騎馬民族の動物意匠-秦漢帝国との対峙の中で-」
日時:7月9日(土) 13:30~
講師:小田木治太郎氏(天理大学教授)
定員:100名(当日先着順)
- ◆トーク・サンコーカン(公開講演会)<<研修室>>
「ササン朝ペルシアの帝王が狩獵する詛-獅子・豹・猪-」
日時:6月25日(土) 13:30~
講師:巽善信(当館学芸員)
定員:100名(当日先着順)
- 「シルクロードの動物と動物意匠の世界-企画展にあわせて-」
日時:7月23日(土) 13:30~
講師:日野宏(当館学芸員)
定員:100名(当日先着順)
- ◆ギャラリートーク(展示解説) <<企画展示室>>
日時:7月25日(月)・8月26日(金) いずれも13:30~
- ◆お役立ち夏休み自由工作3<<研修室>>
「折紙で動物園を作っちゃおう!」
日時:8月6日(土) 13:30~15:30
講師:竹村菊郎氏(折紙研究家)
定員:20名、参加料500円、事前申し込みが必要
小学校低学年以下は保護者同伴

左上:山羊飾角杯形リュトン/イラン/前1千年紀後半
左中:牛頭形飾金具/中国北辺/春秋~戦国
左下:灰陶犬/中国/北魏
下:獸文長方形飾金具/中国北辺/後漢



世界の生活文化と考古美術の博物館
天理大学附属
天理参考館
TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM
〒632-8540 奈良県天理市守目堂町250
TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721
URL <http://www.sankokan.jp/>



アクセス: JR・近鉄天理駅下車 徒歩約20分
西名阪天理インターより南へ約3km(駐車場あり・無料)
※期間により駐車場への入場・駐車が規制される場合があります。